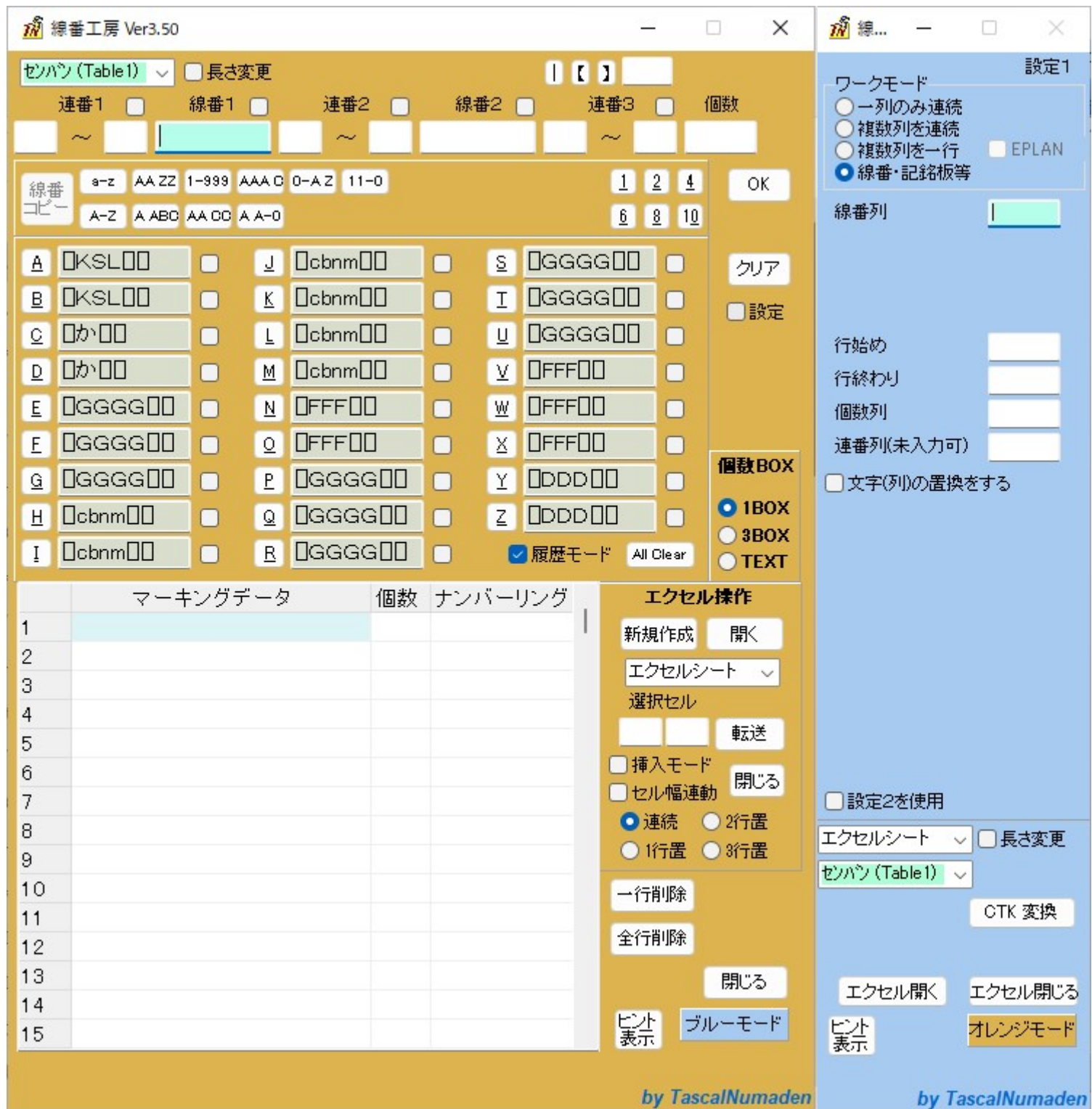


一線番工房 取扱説明書一



入力支援 (オレンジモード)

Excelデータ変換(ブルーモード)

このソフト（線番工房）は、株式会社シーティーケイ社のホットマーカ一SP3000 用専用ソフト CTKPCMS for Windows 用の入力支援ソフトです。（上の画像は起動直後の画面です。表示されていないボタンがあります）

EPLAN出力EXCELファイルに対応しました。42ページ

目次	
○はじめに	4
○インストール	6
○ユーザー登録	8
1-1 主な機能（オレンジモード）	10
1-2 主な機能（ブルーモード）	11
2-1 入力支援（オレンジモード）機能説明	12
2-1-1 ・ヒント表示	12
2-1-2 ・テーブル選択	12
2-1-3 ・ホットマーカーSP3000 への転送先テーブル設定	12
2-1-4 ・テーブルデータ の保存	12
2-1-5 ・テーブルデータ編集	13
2-1-6 ・長さ設定	14
2-1-7 ・送り補正	14
2-1-8 ・テキストボックス入力・マーキング	15
2-1-9 ・ロック機能	17
2-1-10 ・連番入力	17
2-1-11 ・連番ボタン作成	19
2-1-12 ・多段改行	19
2-1-13 ・ナンバーリング	20
2-1-14 ・線番コピー、履歴モード	21
2-1-15 ・グリッド内操作	22
2-1-16 ・文字列挿入モード	23
2-1-17 ・編集モード	23
2-1-18 ・多段改行記号入力	24
2-1-19 ・ナンバーリング記号入力	24
2-1-20 ・CTK マーキングデータのインポート	25
2-1-21 ・CTK ファイルでの保存	26
2-1-22 ・エクセル操作	26
2-1-23 ・デバイスシール作成	28
2-1-24 ・デバイスシール印刷	28
2-1-25 ・列幅・行高さを設定	29
2-1-26 ・エクセル変換（ブルーモード）に切替	29
2-1-27 ・線番工房を閉じる	29
2-1-28 ・キーボード操作	29
・追加機能：個数同時入力	30
：個数入力ボックスに文字列入力	31
：多段改行一括入力	32
：編集モード・文字列置換	33
・文字列挿入	34
・文字列削除	34

2-2	エクセル変換（ブルーモード）機能説明	35
2-2-1	・オレンジモードからブルーモードに切替	35
2-2-2	・エクセルを開く	35
2-2-3	・エクセルを閉じる	36
2-2-4	・ワークモードを選択：線番、記銘板等・マーキング	36
2-2-5	・ワークモードを選択：一列のみ連続	38
2-2-6	・ワークモードを選択：複数列を連続	38
2-2-7	・ワークモードを選択：複数列を一行に	38
2-2-8	・設定 2, 設定 3 を使う	39
2-2-9	・文字列の置換をする	39
2-2-10	・全角文字の検索	41
2-2-11	・キーボード操作	41

ーはじめにー



上の画像は左の senbankb.exe で起動後一行のみ入力して、エクセルを新規作成後転送したものです。

・このソフト（線番工房）は、株式会社シーティーケイ社のホットマーカースP3000 用専用ソフト CTKPCMS for Windows（Ver.3）用の入力支援ソフトです。

生産性向上のために簡単に入力・編集・マーキングができることを願ってこのソフトを作成いたしました。

・エクセル変換（ブルーモード）は、エクセルとのシームレスな操作によりマーキングデータの再利用が簡単です。

・名称は線番工房ですが連番等の活用できるエクセルでの書類作成等もできます。

また、おまけみたいな機能としてエクセルの列幅、行高さをミリ指定で設定して印刷補正をすることもできます。デバイスシール作成用に IDEC IZUMI CORP.のマーキングプリンタ用紙（BNM-D1）のフォーマットも作成できます。

・この取扱説明書には半角文字・全角文字の表記が頻繁に出てきます。

半角文字とはホットマーカースP3000 の内蔵フォントでマーキングできる半角英数字・半角カタカナ・半角記号をいいます。（多段改行用記号 | は除く）

全角文字とはパソコンの Windows フォントでマーキングされる全角変換された英数字・記号・漢字・ひらがな・カタカナをいいます。（ナンバーリング用記号【 】は除く）

線番工房では入力された（エクセル変換された）マーキングデータに全角文字が一文字でもあった場合、Windows フォントでのマーキングになります。


使用規約


- ・線番工房はホットマーカースP3000用の専用ソフトをアシストしますが、株式会社シーティーケイとは全く関係ありません。
- ・線番工房では、一つのライセンスキーで登録できるのは1台のパソコンのみになります。
- ・線番工房の試用版は一部機能制限がありますが無期限に使用することができます。
- ・線番工房の著作権はタスカルヌマデンにあります。試用版のコピー配布は自由にできます。（但し、プログラム、ドキュメント等の変更が無いこと。）
- ・線番工房の動作検証はWindows ME/XP/2000で確認していますが、すべてのパソコンにおいて動作保証はいたしかねます。
- ・ユーザー登録が完了してもテーブルデータファイルが線番工房フォルダ内にない場合一部機能が制限されます。
- ・線番工房を使用して、いかなる問題、損害が発生しても補償はいたしかねます。





以上ご承諾の上でご使用下さい。

ご意見、ご感想、お問い合わせはタスカルヌマデン numaden@po.synapse.ne.jp までお願いします。


ーインストロー

◇  線番工房
フォルダごと適当な場所に置いてください。

◇  線番工房
の中には

 sample  senbankb.exe
TascalNumaden  線番工房取説.pdf  ReadMe.txt
テキストドキュメント
があります。

◇  sample
の中に  senbankb.ini
構成設定 1 KB  sample.sp3
CTKPCMS SP1000系テーブルファイ...
2 KB
があります。

◇ デスクトップまたはスタートメニューに登録する時は  senbankb.exe へのショートカット
ショートカット 1 KB
を作成して登録して
ください。

* 線番工房の表示は画面の解像度が縦方向で 768 ピクセルに最適化されています。





* 画面の解像度が低い場合は線番工房を起動した時、左のメッセージが出ますので画面の解像度の設定をしてください。



◇ 線番工房では通常のインストール操作は必要ありませんがホットマーカーSP3000 のテーブルデータと



の整合性が必要です。その為にテーブルデータ senbankb.sp3 が線番工房フォルダ内に必要です。(試用版では必要ありません)

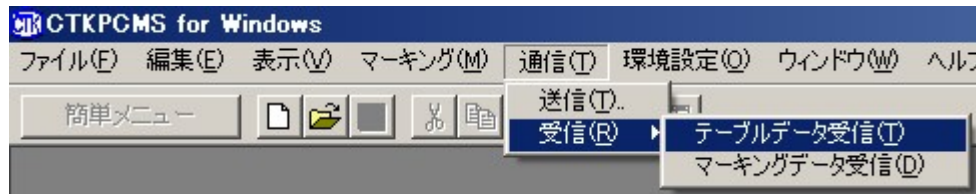
* テーブルデータが線番工房フォルダ内になかった場合機能は試用版と同じになります。

*  sample
の中の  senbankb.ini
構成設定 1 KB
このファイルには連番ボタンの作成データ等がサンプルとして設定
されています。このファイルを使用する時は sample フォルダから出して線番工房フォルダ内に置いてくだ
さい。

* 線番工房を起動後に作成される  線番工房
の中の  senbankb.ini
構成設定 1 KB
このファイルを削除または編集等し
た場合、ライセンスキーの再度入力が必要になります。また連番ボタンと **ホットマーカーSP3000 への転送
先テーブル設定が削除されます。**



◇ テーブルデータの保存 (試用版では必要ありません)

株式会社シーティーケイ社のホットマーカーSP3000 用専用ソフト **CTKPCMS for Windows** がインストール
されていることが必要です。(ホットマーカーSP3000 に接続済みのこと)



◇ **CTKPCMS for Windows** を起動します。

◇ テーブルデータを受信しファイル名 **senbankb.sp3** で**線番工房フォルダ**内に保存します。(受信済みファイルがある場合はファイル名 **senbankb.sp3** で**線番工房フォルダ**内に置きます。パソコンの設定によっては拡張子 (**.sp3**) の表示がない場合があります。)

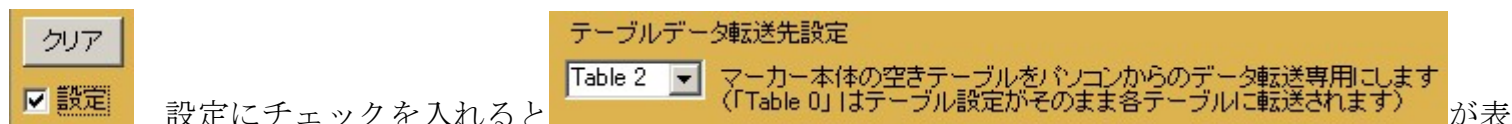
* 線番工房の機能を確認するだけなら  **sample** の中に  **sample.sp3** (CTKPCMS SP1000系テーブルファイ... 2 KB) がありますので

ファイル名を **senbankb.sp3** に変更し、**線番工房フォルダ**内に置きます。

* **sample.sp3** の設定はお使いのホットマーカースP3000 ではマーキングできない可能性がありますのでご注意ください。

◇ **ホットマーカースP3000** への転送先テーブル設定 (試用版では表示されません)

ユーザー登録の完了後、**テーブルデータ転送先設定**が設定可能になります。



示されますので、**テーブルデータ転送先設定**を **Table 0** 以外で、ホットマーカースP3000 の空きテーブルまたは使用頻度の少ないテーブルに設定します。



* テーブルデータ **senbankb.sp3** が**線番工房フォルダ**に無ければ表示されません。(2-1-4 参照)

* 試用版では表示されません。

*** 注意 *** ホットマーカースP3000 へのテーブルデータ転送先設定が **Table 0** の場合、テーブル選択

(Table1) で設定したテーブルにデータが転送されます。(長さ変更・送り補正等をした場合、ホットマーカースP3000 本体のテーブルデータが変更されます。)

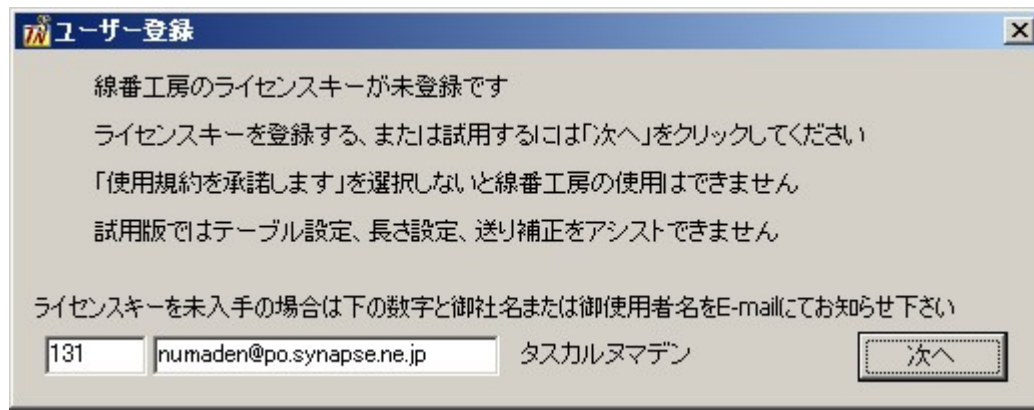
パソコンのみでの使用では問題ありませんがホットマーカースP3000 本体での入力・マーキングもする場合は **Table 0** 以外を設定してください。(パソコン側でテーブルデータを変更してもホットマーカースP3000 本体側での入力・マーキング時にはテーブル選択をするだけになります。)

◇ **アンインストール**

線番工房フォルダごと削除してください。

— ユーザー登録 —

線番工房を初めて起動した時、下の画像が表示されます。




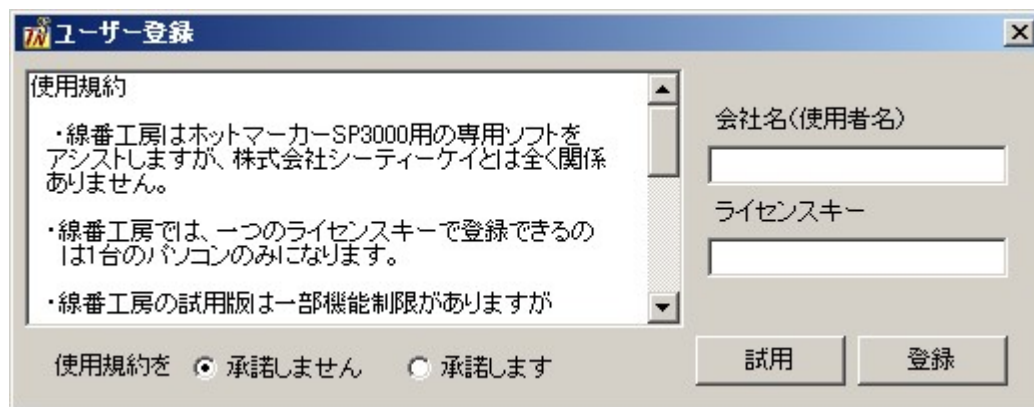
ライセンスキーを未入手の場合、表示された 3 桁の数字と御社名または御使用者名を E-mail にてお知らせ下さい。タスカルヌマデン numaden@po.synapse.ne.jp

線番工房は、(株) ベクターのシェアレジに登録されています。

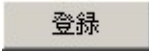
<https://sw.vector.co.jp/swreg/step1.reserve?srno=SR145600>

ライセンスキーのご購入は (株) ベクターのシェアレジをご利用下さい。

 をクリックすると下の画像が表示されます。

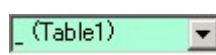
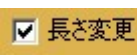


使用規約にご承諾の上 ☒ 承諾します にチェックを入れてください。

会社名 (使用者名) を入力後、ライセンスキーを入力して  をクリックしてください。



* テーブルデータ senbankb.sp3 が線番工房フォルダ内になかった場合、

  長さ変更 20.0 は表示されません。

* 試用版としてお使いの場合は  をクリックしてください。

* 試用版では次の画像のように表示されます。

* 画像にある連番ボタン **RST**・・・はサンプルです。そのままご使用になりたい時はユーザー登録前に **sample**

フォルダにある **senbankb.ini** ファイルを線番工房フォルダ内に置いてください。

* 試用版では機能制限があります。

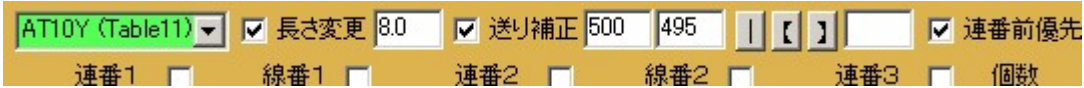
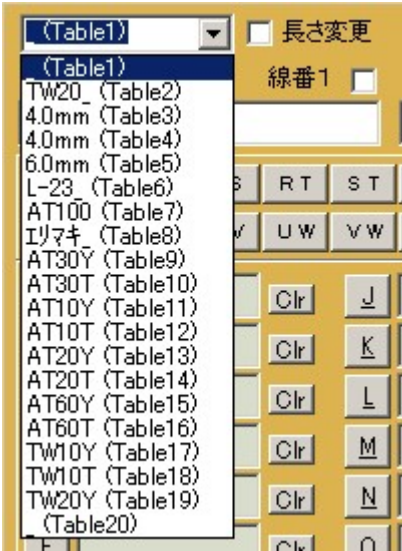
- ・テーブル選択ができません。
- ・長さ設定ができません。
- ・送り補正ができません。
- ・Windows フォント（全角文字）でのマーキングができません。
- ・Windows フォント（全角文字）での保存ができません。

* 線番工房でマーキング時に出力されるファイルが線番工房フォルダ内に作成されます。

- ・試用版では CTKPCMS 標準データファイル senbankb.ctk（マーキングデータのためのファイル）
- ・製品版では CTKPCMS 統合データファイル senbankb.cta（テーブルデータ設定を含むファイル）

1-1 主な機能（オレンジモード）

- ・プルダウンメニューによるテーブル選択
- ・ワーク長の変更、送り補正が簡単にできます
- ・多段改行、ナンバーリング用記号入力が簡単



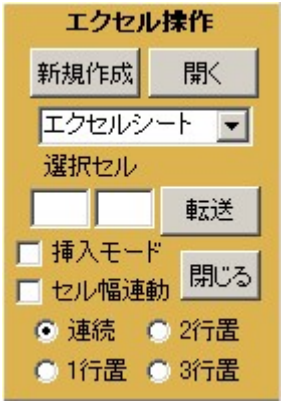
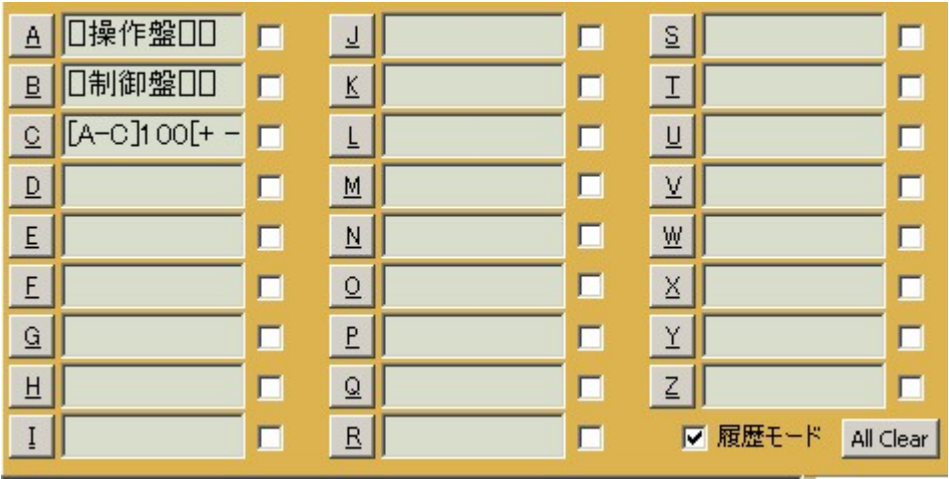
- ・1行で同時に3つの連番を設定(昇・降順混在)できます
(10進数は3桁、16進数は2桁、アルファベットは1桁)



- ・連番ボタンを作成できます



- ・線番コピー、履歴モードで入力データが登録され再利用が簡単
- ・エクセルにデータを転送できます



	マーキングデータ	個数	ナンバーリング
1	A100+	2	
2	A100-	2	
3	B100+	2	
4	B100-	2	
5	C100+	2	
6	C100-	2	
7	制御盤	1	
8	操作盤	1	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

- ・連番、線番テキストボックスに入力すると左のグリッドに表示されます。
(半角文字だけの場合 1000 行表示できます。
全角文字が一文字でもあると ~~100 行までの表示~~ になり色が変わります。)
- ・ブルーモードボタンをクリックすると、
エクセルデータの変換モードになります。



1-2 主な機能（ブルーモード）

- ・ケーブル加工リスト等のエクセルデータがあれば有効に活用できます。
- ・線番等もエクセルで保存してあれば簡単に変換できます
- ・エクセルデータを範囲選択するだけ（直接、列番号・行番号を指定可）
- ・文字列の置換も同時に 2 カ所できます

The screenshot shows the CTKPCMS for Windows interface. On the left, a table displays line numbers (D, E, F) and their corresponding cable numbers (C1, C2, etc.). The main area shows settings for line numbers and text replacement. The 'ワークモード' (Work Mode) is set to '線番、記名板等' (Line numbers, nameplates, etc.). The '線番列' (Line number column) is set to 'E'. The '行始め' (Start row) is set to '2', '行終わり' (End row) is set to '7', and '個数列' (Individual column) is set to 'F'. The '連番列(未入力可)' (Serial number column (optional)) is set to 'Z'. The '文字列の置換' (Text replacement) section is checked, with '置換前文字列' (Before replacement text) set to 'M' and '置換文字列' (Replacement text) set to 'Z'. The '設定2' (Setting 2) section is also checked, with '置換前文字列' (Before replacement text) set to 'Z11' and '置換文字列' (Replacement text) set to 'X55'.

ライン	マーキングデータ【お
0001	UX55
0002	VX55
0003	WX55
0004	UZ12
0005	VZ12
0006	WZ12
0007	
0008	
0009	

- ・設定 1、2、3 を使うことで 3 回路分マーキングできます。

The screenshot shows three settings panels (設定1, 設定2, 設定3) for the CTKPCMS for Windows. Each panel has a 'ワークモード' (Work Mode) section with radio buttons for '一列のみ連続' (Continuous in one column), '複数列を連続(エリマキ)' (Continuous in multiple columns (Erimaki)), '複数列を一行に(ケーブルNo.)' (Continuous in one row (Cable No.)), and '線番、記銘板等' (Line numbers, nameplates, etc.). The '線番列' (Line number column) is set to 'E' in all panels. The '行始め' (Start row) is set to '2', '行終わり' (End row) is set to '7', and '個数列' (Individual column) is set to 'F' in all panels. The '連番列(未入力可)' (Serial number column (optional)) is set to 'Z' in all panels. The '文字列の置換' (Text replacement) section is checked in all panels, with '置換前文字列' (Before replacement text) set to 'M' and '置換文字列' (Replacement text) set to 'Q' in 設定3, 'P' in 設定2, and 'O' in 設定1. The '設定2' (Setting 2) section is also checked in all panels, with '置換前文字列' (Before replacement text) set to 'Z11' and '置換文字列' (Replacement text) set to 'X55'.

ライン	マーキングデー
0001	UO11
0002	VO11
0003	WO11
0004	UO12
0005	VO12
0006	WO12
0007	UP11
0008	VP11
0009	WP11
0010	UP12
0011	VP12
0012	WP12
0013	UQ11
0014	VQ11
0015	WQ11
0016	UQ12
0017	VQ12
0018	WQ12

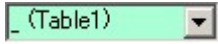
2-1 入力支援（オレンジモード）

2-1-1 ・ヒント表示（ブルーモード同様）



クリックしてマウスカursorを各ポイントに移動するとヒントが表示されます。

2-1-2 ・テーブル選択（試用版では表示されません）（ブルーモード同様）



三角マークをクリックしてテーブルナンバーを選択します。

*テーブル選択のタイミングはマーキングの直前で設定出来ます。

*ホットマーカ－SP3000 への転送先テーブルは別に設定出来ます。（2-1-3 参照）

*記銘板ラインモードのテーブルを選択したときマーキングデータの最後に自動的にスペースが入力されます。（最後の仕切りラインを入れる為）



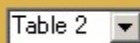
*テーブルデータ senbankb.sp3 が線番工房フォルダに無ければ表示されません。（2-1-4 参照）

2-1-3 ・ホットマーカ－SP3000 への転送先テーブル設定（試用版では表示されません）



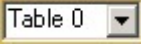
設定にチェックを入れると

テーブルデータ転送先設定



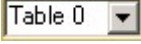
マーカ－本体の空きテーブルをパソコンからのデータ転送専用にします
（「Table 0」はテーブル設定がそのまま各テーブルに転送されます）

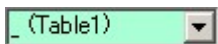
が表

示されますので、テーブルデータ転送先設定を  以外で、ホットマーカ－SP3000 の空きテーブルまたは使用頻度の少ないテーブルに設定します。




*テーブルデータ senbankb.sp3 が線番工房フォルダに無ければ表示されません。（2-1-4 参照）

注意 ホットマーカ－SP3000 へのテーブルデータ転送先設定が  の場合、テーブル選択



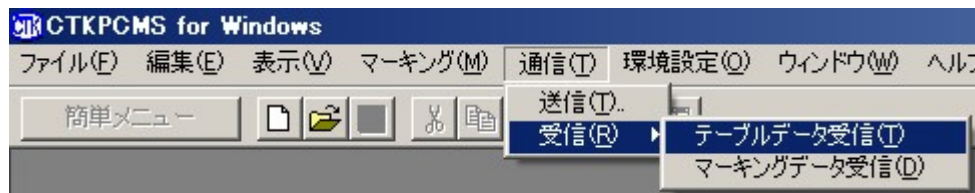
で設定したテーブルにデータが転送されます。（長さ変更・送り補正等をした場合、ホットマーカ－SP3000 本体のテーブルデータが変更されます。）

パソコンのみでの使用では問題ありませんがホットマーカ－SP3000 本体での入力・マーキングもする場合

は  以外を設定してください。（パソコン側でテーブルデータを変更してもホットマーカ－SP3000 本体側での入力・マーキング時にはテーブル選択をするだけになります。）

2-1-4 ・テーブルデータの保存（試用版では必要ありません）

株式会社シーティーケイ社のホットマーカ－SP3000 用専用ソフト CTKPCMS for Windows がインストールされていることが必要です。（ホットマーカ－SP3000 に接続済みのこと）



- ◇ 線番工房を終了し **CTKPCMS for Windows** を起動します。
- ◇ テーブルデータを受信しファイル名 **senbankb.sp3** で**線番工房フォルダ**内に保存します。(受信済みファイルがある場合はファイル名 **senbankb.sp3** で**線番工房フォルダ**内に置きます。パソコンの設定によっては拡張子 (**.sp3**) の表示がない場合があります。)
- ◇ 線番工房を起動しテーブルデータ転送先設定を **Table 0** 以外で、ホットマーカースP3000 の空きテーブルまたは使用頻度の少ないテーブルに設定します。
- ◇ 線番工房で 20 テーブル設定でき、ホットマーカースP3000 本体側で 19 テーブル設定できます。
- ◇ パソコン側で使用するテーブルデータとホットマーカースP3000 本体側で使用するテーブルデータを別々のワーク設定等にすれば合計 39 テーブル設定ができます。

2-1-5 ・テーブルデータ編集 (試用版では必要ありません)

- ◇ 線番工房では、テーブルデータファイル (**senbankb.sp3**) に対して書き込みはしません。ホットマーカースP3000 本体の印字ヘッドの調整・交換等でテーブルデータの変更が生じた場合は必ず **senbankb.sp3** のテーブルデータも変更してください。



- ◇ **線番工房フォルダ**内の **senbankb.sp3** をダブルクリックで **CTKPCMS for Windows** が起動します。

SP3000	
1	ナンバリング 10進
2	コメント
3	ワークモード チューブ
4	前空白 2.0
5	文字サイズ 2.4×2.4(タテ)
6	後空白 2.0
7	印字方向 横書き
8	印字濃度 120
9	文字ピッチ 3.0
10	ループモード 繰返し
11	縦方向間隔 8
12	ラベル位置 10.0
13	カッター位置 71.4
14	カット補正 105.0
15	送り補正 109.6
16	カットタイプ 全切り
17	Y補正 180 一括変更
18	セット数 2セット
19	Y最大 64
20	ワーク長 20.0

印字ヘッドの調整・交換の時は Y 補正を変更します。

- ◇ 一時的にテーブルデータを変更する場合は、線番工房で入力後マーキング時に表示される設定で変更します。

H:\senbankb.cta

データ 設定

☐ Windows Font

保存先テーブル 2

コメント	<input type="text"/>	ナンバーリング	10進
ワークモード	チューブ	前空白	2.0
文字サイズ	2.4×2.4(タテ)	後空白	2.0
印字方向	横書き	印字濃度	120
文字ピッチ	3.0	ループモード	繰返し
縦方向間隔	8	ラベル位置	10.0
カッター位置	71.4	カット補正	105.0
送り補正	109.6	カットタイプ	全切り
Y補正	180	セット数	2セット
Y最大	64		
ワーク長	20.0		

注意 このテーブルデータを変更したとしても、次回線番工房で入力後マーキングをすると元のテーブルデータでマーキングされます。(線番工房ではテーブル選択、ワーク長、送り補正のみ設定できます)

2-1-6 ・長さ設定 (試用版では表示されません) (ブルーモード同様)

☒ 長さ変更 20.0 「長さ変更」にチェックを入れると現在のテーブル設定のワーク長が表示されますので数値を入力して **Enter** キーで変更します。

*長さ変更のタイミングはマーキングの直前で設定出来ます。

*チェックをはずすと元の長さに戻ります。



*テーブルデータ senbankb.sp3 が線番工房フォルダに無ければ表示されません。(2-1-4 参照)

2-1-7 ・送り補正 (試用版では表示されません) (ブルーモード同様)

記銘板モードのテーブル設定を選択すると送り補正のチェックボックス ☐ 送り補正 が表示され、マウスクリ

ックすると ☒ 98.2 % 現在の送り補正值とテキストボックスが表示されます。

◇ 送り補正の前にテストマーキングをします。端子台の数+1の「I」(英文字)を記銘板にマーキングします。(裏面でテストマーキングの場合余白 20cmぐらいでカットします。)

◇ ☒ 99.1 % 500 495 端子台の長さを両端のしきりで測定し、送り補正の一つ目のボックスにミリ単位で入力(画像 500)し **Enter** キーを押すと二つ目のボックスにテキストカーソルが移ります。

- ◇ テストマーキングした記銘板の最初の「 I 」(英文字) から最後の「 I 」(端子台の数+ 1) までの長さを測定して送り補正の二つ目のボックスにミリ単位で入力 (画像 495) し **Enter** キーを押します。
- ◇ 端子台のマーキングデータを記銘板にマーキングします。
- * 微調整が必要な時は、送り補正値を 0.1 ずつ変更します。
- * 送り補正のタイミングはマーキングの直前で設定出来ます。
- * チェックをはずすと送り補正は元に戻ります。



* テーブルデータ senbankb.sp3 が線番工房フォルダに無ければ表示されません。(2-1-4 参照)

2-1-8 ・テキストボックス入力・マーキング

連番無しで入力するときは「線番 1」を主とします。ここにテキストカーソルがあれば入力できます。

- ◇ に文字列を入力し **Enter** キーを押すと にテキストカーソルが移動します。

- ◇ または にフォーカスがある時に **Alt** キーを押すと にフォーカスが移ります。

- ◇ に数字を入力し ボタンをクリックするか **Enter** キーを押すとグリッドに追記されます。

* と は全角文字 (ひらがな・漢字等) も入力できます。

* 全角文字でのマーキングは Windows フォントになります。(半角: ホットマーカーSP3000 内蔵フォント)
* 試用版では Windows フォントでのマーキングはアシストされません。

半角文字のみのグリッド表示

全角文字が含まれるグリッド表示

	マーキングデータ	個数	ナンバーリ		マーキングデータ	個数	ナンバーリング	
1	X000	2		1	制御盤	1		
2	X001	2		2	操作盤	1		
3	X002	2		3	配電盤	1		
4	X003	2		4				
5	X004	2		5				
6	X005	2		6				
7	X00A	2		7				
8				8				
9				9				

◇ グリッドに文字列が表示されていれば **マーキング** が表示されますのでクリックします。(キーボード **F10**)

◇ テーブル設定確認のメッセージが表示されますので **はい(Y)** をクリックするか **Enter** キーを押します。



* テーブル設定が間違っていればキャンセルして、テーブル設定後再度マーキングしてください。

* 試用版ではテーブル設定の確認はありません。

◇ しばらくして **CTKPCMS for Windows** が起動されて次のウインドウが表示されます。
(CTKPCMS for Windows がインストールされていなければ起動しません)

データ 設定			
ライン	マーキングデータ【拡張編集モード】	個数	ナンバー
0001	X000	2	
0002	X001	2	
0003	X002	2	
0004	X003	2	
0005	X004	2	
0006	X005	2	
0007	X00A	2	
0008			

半角文字のみの表示

データ 設定			
MS Pゴシック 18 B			
ライン	個数	マーキング	ワーク長
0001	1	制御盤	
0002	1	操作盤	
0003	1	配電盤	
0004			
0005			
0006			

全角文字が含まれる場合の表示

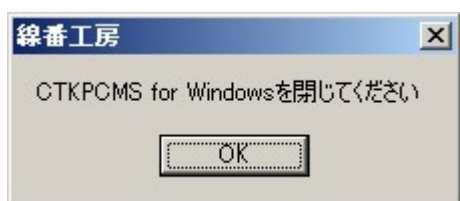
◇ メニューの **マーキング(M)** をクリックして **範囲を指定してマーキング(M)...** のどちらかを選択後、範囲を指定することでマーキングできます。(ホットマーカーSP3000 に接続済みのこと)

* **転送してマーキング(T)** を選択した場合、ホットマーカーSP3000 本体のマーキングデータが消去されます。

* **転送してマーキング(T)** を選択した時は、ホットマーカーSP3000 がマーキングをスタートした時点で **CTKPCMS for Windows** を閉じる事ができます。

* **範囲を指定してマーキング(M)...** を選択した時は、ホットマーカーSP3000 がマーキングを終了するまで **CTKPCMS for Windows** を閉じる事ができません。(線番工房での作業はできます)

* **CTKPCMS for Windows** を閉じないと次回、線番工房の **マーキング** をクリックした時に




のメッセージが出ます。

◇ **線番1** に入力後 **Enter** キーを押さずに、**Alt+ 1 ~0** キーを押すことにより **個数** に 1 ~10 が入

力され、文字列がグリッドに追記されます。

◇  のボタンをクリックする事で  に 1,2,4,6,8,10 が入力され、文字列がグリッドに追記されます。

* 文字列が反転表示  のときはそのまま **X00B**  と入力できます。(反転表示のとき **矢**

印← →キーまたは反転表示をマウスクリックで反転表示が解除されますので文字の追加等  が
できます。)

* テキストカーソルの移動は **Tab** キーを押すことで、線番 1→連番 1→連番 2→線番 2→連番 3→個数の順で移動します。(普通に横移動は**矢印← →**キーを押します)

2-1-9 ・ロック機能



- 「線番 1」横のチェックボックスにチェックを入れると「線番 1」がロックされ、「線番 2」が入力可になります。(線番 1 と線番 2 が一つの文字列になります)
- * 線番 2 のテキストボックスに入力し **Enter** キーを押すと「個数」にテキストカーソルが移動します。
- * 線番 1 と線番 2 は同時にロックできません。
- * 連番 1 ～連番 3 もロックできます。
- * チェックをはずすと線番 1 以外はクリアされます。
- * チェックがない状態でダブルクリックすると線番 1 以外はクリアされます。

2-1-10 ・連番入力（連番ボタン使用）



- 連番入力は同時に 3 つの連番を設定する事ができます。(テキストボックスに入力した文字は連番 1、線番 1、連番 2、線番 2、連番 3 の並びで一つの線番を構成します。)
- ◇ 画像では線番 1 に 100 を入力後、**Tab** キーを押して（連番 1 にテキストカーソルを移動）、その下にある **RST** ボタンをクリックしたところです。(**RST** 等の連番ボタンは 20 個作成できます)

	マーキングデータ	個数	ナンバーリング
1	R100	2	
2	S100	2	
3	T100	2	
4			

- * 連番 2、連番 3 も同様にテキストカーソルを移動し、連番ボタンで入力できます。
- * グリッド内の編集で個数等の変更もできます。(2-1-17 参照)

グリッド表示

・連番入力（直接入力）

◇ 連番ボタンを使わずに直接入力する事もできます。

◇ 画像の様に、連番 1～3 にある **～** の場所をクリックすることで連番モードが切り替わります。

◇ 連番 1～3 のいずれかにフォーカスがある時、**Alt** キーを押すことで連番モードが切り替わります。

* **～** が表示されているとき結果は連続した値になります。

* 連続のとき入力できるのは

10 進数 3 桁 **～** **～** **～** **～**

16 進数 2 桁 **～** **～** **～** **～**

アルファベット 1 桁 **～** **～** **～** **～** までになります

* **～** が表示されていないとき結果は入力した文字になります。

（連続でないとき入力できるのは半角英数字と半角記号の 3 桁までになります）

* **～** のように一方だけ文字を入力し空白がある時グリッドには反映されません。

* もし結果が予想と違った場合は **取消** ボタンをクリックして修正入力できます。（キーボード **Esc**）

* **クリア** ボタンをクリックすると（キーボード **F11**）

のように個数以外全てクリアされます。

* 全てクリアせずに部分的に削除したい時はロック用チェックボックス ☐ をダブルクリックする事で削除できます。線番 1 は反転表示になりますがそのまま入力できます。

* **一行削除** をクリックするとグリッドの内容が一行削除されます。

* **全行削除** をクリックするとグリッドの内容が全行削除されます。（キーボード **F12**）

* 連番 1～3 で同時に二つあるいは三つの連番を設定した場合 の上に ☐ **連番前優先** のチェックボックスが表示されますので前を優先にしたいときはチェックを入れてください。

☐ 連番前優先

	マーキングデータ	個数	ナン
1	R100A001	2	
2	R100A003	2	
3	R100A005	2	
4	R100B001	2	
5	R100B003	2	
6	R100B005	2	
7	S100A001	2	
8	S100A003	2	
9	S100A005	2	
10	S100B001	2	
11	S100B003	2	
12	S100B005	2	
13	T100A001	2	
14	T100A003	2	
15	T100A005	2	

☒ 連番前優先

	マーキングデータ	個数	ナン
1	R100A001	2	
2	S100A001	2	
3	T100A001	2	
4	R100B001	2	
5	S100B001	2	
6	T100B001	2	
7	R100A003	2	
8	S100A003	2	
9	T100A003	2	
10	R100B003	2	
11	S100B003	2	
12	T100B003	2	
13	R100A005	2	
14	S100A005	2	
15	T100A005	2	

2-1-11 ・連番ボタン作成



設定にチェックを入れると

右画像が表示されます。サンプルで 19 個作成済みです。

*画像の例のように入力します。入力できるのは空白またはハイフンを含めて 5 文字までです。

*マーキングデータとして連番ボタンに空白は設定できません。



☐ 設定

設定を閉じるとボタンが作成されます。

2-1-12 ・多段改行（ホットマーカーSP3000 の仕様）



◇ ホットマーカーSP3000 の仕様である多段改行の記号 **⏏** を入力できます。（キーボード **F5**）



◇ または **⏏** に文字を入力後 **⏏** ボタンをクリックで入力します。

*多段改行の記号 **⏏** の入力是一个の線番で 2 個までになります。

*連番 1 に文字がなければ線番 1 の左端には入力できません。

*連番 1、線番 1、連番 2 のいずれかに文字がなければ線番 2 の左端には入力できません。

*二つ目の **⏏** は一つ目の **⏏** に続けて入力はできません。

＊線番 1 の末尾に **1** がある場合  のように連番 2 に文字があれば **1** を線番 2 の左端に入力できます。

＊実際のマーキング時には文字サイズ、文字数、多段改行の記号 **1** の挿入場所によってエラーになることがあります。



＊全角文字入力時での多段改行の記号 **1** は対応していません。（グリッド内に全角文字がある場合でも同じ）

＊グリッド内で多段改行の記号 **1** を入力することもできます。（2-1-18 参照）




2-1-13 ・ナンバーリング（ホットマーカーSP3000 の仕様）



◇ ホットマーカーSP3000 の仕様であるナンバーリングの記号 **1** を入力できます。

◇  または  に **1** ボタンをクリックで入力します。（キーボード **F6**）

◇ ナンバーリングの始値を入力後 **1** ボタンをクリックで入力します。（キーボード **F6** または **Enter**）

◇ ナンバーリングの終値を **1**  に入力します。**Enter** を押すと  または  にカーソルが戻ります。

＊ナンバーリングの始値と終値は 10 進数または 16 進数以外入力できません。）

＊ホットマーカーSP3000 のテーブルデータで 16 進が設定されている時マーキング時にエラーになる場合があります。

＊ナンバーリングの始値を入力しないと **1** は入力できません。

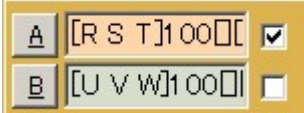
＊ナンバーリングの記号 **1** の入力是一个の線番で一組だけになります。

＊全角文字入力時でのナンバーリングの記号 **1** は対応していません。

＊グリッド内でナンバーリングの記号 **1** を入力することもできます。（2-1-19 参照）

2-1-14 ・線番コピー、履歴モード

- ◇ 連番 1～連番 3、線番 1、線番 2 に文字があれば **線番コピー** をクリックすることでテキストボックス A～Z の 26 個までコピー登録することが出来て、再利用が簡単です。(登録済みと同じ線番は再度登録できません。)
- ◇ **線番コピー** モードの時、テキストボックスの横にある **Clr** ボタンをクリックするとテキストボックスの文字列が消去され以降のテキストボックスに文字列があればシフトされます。
- ◇ ☒ **履歴モード** にチェックを入れると **線番コピー** ボタンが使用不可になりますが、入力された線番がテキストボックス A～Z の 26 個まで履歴に残ります。
- ◇ 再利用は、連番 1～連番 3、線番 1、線番 2 のいずれかにテキストカーソルがある時、**A**～**Z** ボタン又は **A**～**Z** ボタン横のテキストボックスをクリックするか **Alt + A～Z** キーを押すことでテキストボックスの文字列が反映されます。

- ◇ ☒ **履歴モード** の時、 テキストボックス横にあるチェックボックスにチェックを入れると、テキストボックスがロックされます。チェックをはずすとテキストボックスの文字列が削除され以降のテキストボックスに文字列があればシフトされます。
- ◇ **All Clear** をクリックするとテキストボックス A～Z の文字列が全て削除されます。

2-1-15 ・グリッド内操作

半角文字表示&メニュー

全角文字表示&メニュー

	マーキングデータ	個数	ナンバーリ		マーキングデータ	個数	ナンバーリング
3	R300	2		1	制御盤		
4	R400	元に戻す(N) Ctrl+Z		2	操作盤	元に戻す(N) Ctrl+Z	
5	R500	やり直し(Q) Shift+Ctrl+Z		3	配電盤	やり直し(Q) Shift+Ctrl+Z	
6	S100	編集(Q)		4		編集(Q)	
7	S200	多段改行記号 (R)		5		多段改行記号 (R)	
8	S300	ナンバーリング記号 【】(S)		6		ナンバーリング記号 【】(S)	
9	S400	切り取り(X) Ctrl+X		7		切り取り(X) Ctrl+X	
10	S500	コピー(C) Ctrl+C		8		コピー(C) Ctrl+C	
11	T100	貼り付け(P) Ctrl+V		9		貼り付け(P) Ctrl+V	
12	T200	行削除(U)		10		行削除(U)	
13	T300	行挿入(I)		11		行挿入(I)	
14	T400	逆順に並び替え(W)		12		逆順に並び替え(W)	
15	T500	文字列挿入モード(Y)		13		文字列挿入モード(Y)	
16		文字列挿入モード解除(Z)		14		文字列挿入モード解除(Z)	
17		OTKマーキングデータ インポート(T)		15		OTKマーキングデータ インポート(T)	

- ◇ グリッド内で右クリックすると上の画像の様にメニューが表示され、使用できる機能が選択できます。
 - ・元に戻す：一つ前の表示に戻します。 **Ctrl+Z** または **Esc**
 - ・やり直し：元に戻す前の表示にします。 **Shift+Ctrl+Z**
 - *元に戻す・やり直しは、多段改行・ナンバーリング入力モードでは機能しません。
 - ・切り取り：選択されているセルの文字列を切り取ります。 **Ctrl+X**
 - ・コピー：選択されているセルの文字列をコピーします。 **Ctrl+C**
 - ・貼り付け：選択されているセルにコピーされた文字列を貼り付けます。 **Ctrl+V**
 - ・行削除：選択されている範囲の行数分削除します。
 - ・行挿入：選択されている範囲の行頭に選択されている行数分挿入されます。
 - ・逆順に並び替え：グリッドに表示されているデータを上下逆に並び替えます。
- ◇ グリッド内の行番号をドラッグ（マウス左ボタン押したまま移動して離す）することで行移動ができます。
- ◇ グリッド以外にフォーカスがある時に **Ctrl** キーを押す、またはグリッド内をクリックするとグリッドにフォーカスが移ります。
- ◇ グリッドにフォーカスがある時に **Alt** キーを押すと線番 1 または線番 2 にフォーカスが移ります。
 - * 記銘板のマーキングで空白行が必要なときは **スペース** キーでの入力が必要です。
 - * 半角文字だけのとき 1000 行まで、~~全角文字が含まれると 100 行まで~~表示されます。
 - * グリッド内に全角文字が一文字でもある場合 Windows フォントでマーキングされます。
 - * 貼り付けをしたとき 1000 行 ~~(100 行)~~ を超えた分の文字列は表示されません。

文字列挿入モード				編集モード			
7	文字列挿入モード	個数	ナンバーリ	7	編集モード	個数	ナンバーリング
7	T200	1		7	T200	2	
8	ED	1		8	ED	4	
9	R300	1		9	R300	6	
10	S300	1		10	S300	8	
11	T300	1		11	T300	10	
12	ED	1		12	ED	1	
13	R400	1		13	R400	1	
14	S400	1		14	S400	1	
15	T400	1		15	T400	1	
16	ED	1		16	ED	1	
17	R500	1		17	R500	1	
18	S500	1		18	S500	1	
19	T500	1		19	T500	1	
20				20			
21				21			

2-1-16 ・文字列挿入モード

◇ 文字列挿入モード（キーボード **F4**）は選択セル位置に挿入されます。例では記銘板のマーキング用に入力したものです。

◇ 上の画像は始めに通常モードで

連番1	<input type="checkbox"/>	線番1	<input type="checkbox"/>	連番2	<input type="checkbox"/>	線番2	<input type="checkbox"/>	連番3	<input type="checkbox"/>	個数	<input type="text"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 連番前優先
R	S	T		1	~	5	00		~		1	

のように設定し **Enter** キーを押します。結果が半角文字表示&メニューになります。

◇次に文字列挿入モードで挿入したいセル（R200）を選択して

連番1	<input type="checkbox"/>	線番1	<input type="checkbox"/>	連番2	<input type="checkbox"/>	線番2	<input type="checkbox"/>	連番3	<input type="checkbox"/>	個数	<input type="text"/>
	~		ED		~				~		1

のように設定し **Enter** キーを押します。（R300）、（R400）、（R500）もそれぞれ選択後 **Enter** キーを押します。

*文字列挿入モードではグリッドをクリックしてもフォーカスは移りません。

2-1-17 ・編集モード

◇ 編集モード（キーボード **F2**）では選択セルに直接文字を入力または編集できます。

◇ 連番モードで入力した個数等を変更出来ます。

◇ 選択セルで文字を入力した後のセル移動は矢印 **↑ ↓** キーを押すか、**Enter** キーを押して矢印 **← →** キーで移動します。

◇ 選択セルの文字列を編集したいときは **Enter** キーを押すか選択セルをダブルクリック後、クリックします。

反転表示 **S400** になりますので矢印 **← →** キーを押して編集します。

◇ 編集モード解除は **Alt** キー又は **F2** キーを押すか、連番、線番入力ボックスをクリックします。

	多段改行記号挿入モード	個数	ナンバーリ		ナンバーリング記号挿入モード	個数	ナンバーリング
7	T2 00	1		1	X010【0】	1	A
8	ED	1		2	X020【0】	1	B
9	R3 00	1		3	X030【0】	1	C
10	S3 00	1		4	X040【0】	1	D
11	T3 00	1		5	X050【0】	1	E
12	ED	1		6	Y0100【A】	2	F
13	R4 00	1		7	Y0200【A】	2	F
14	S4 00	1		8	Y0300【A】	2	F
15	T4 00	1		9	Y0400【A】	2	F
16	ED	1		10	Y0500【A】	2	F
17	R5 00	1		11	【0】	2	F
18	S5 00	1		12			
19	T5 00	1		13			
20				14			
21				15			

2-1-18 ・多段改行記号入力

- ◇ 多段改行記号入力とナンバーリング記号入力は（キーボード **F3**）を押すことで切り替わります。
- ◇ 多段改行記号入力は挿入位置をマウスクリックするだけです。
- ◇ すでに多段改行記号がある時マウスクリックすると削除されます。
- ◇ 文字列の右端をクリックすると入力モードになります。 **Enter** キーで入力確定出来ます。
- ◇ 多段改行記号入力解除は **Alt** キー又は **F3** キーを押すか、連番、線番入力ボックスをクリックします。
- *入力確定後に訂正するときは再度多段改行記号をマウスクリックで入力します。
- *選択セル内に文字列がなければ挿入できません。
- *全角文字の入力は出来ません。
- *多段改行記号はセル内に 2 つまでになります。
- *個数列、ナンバーリング列が編集できます。

2-1-19 ・ナンバーリング記号入力

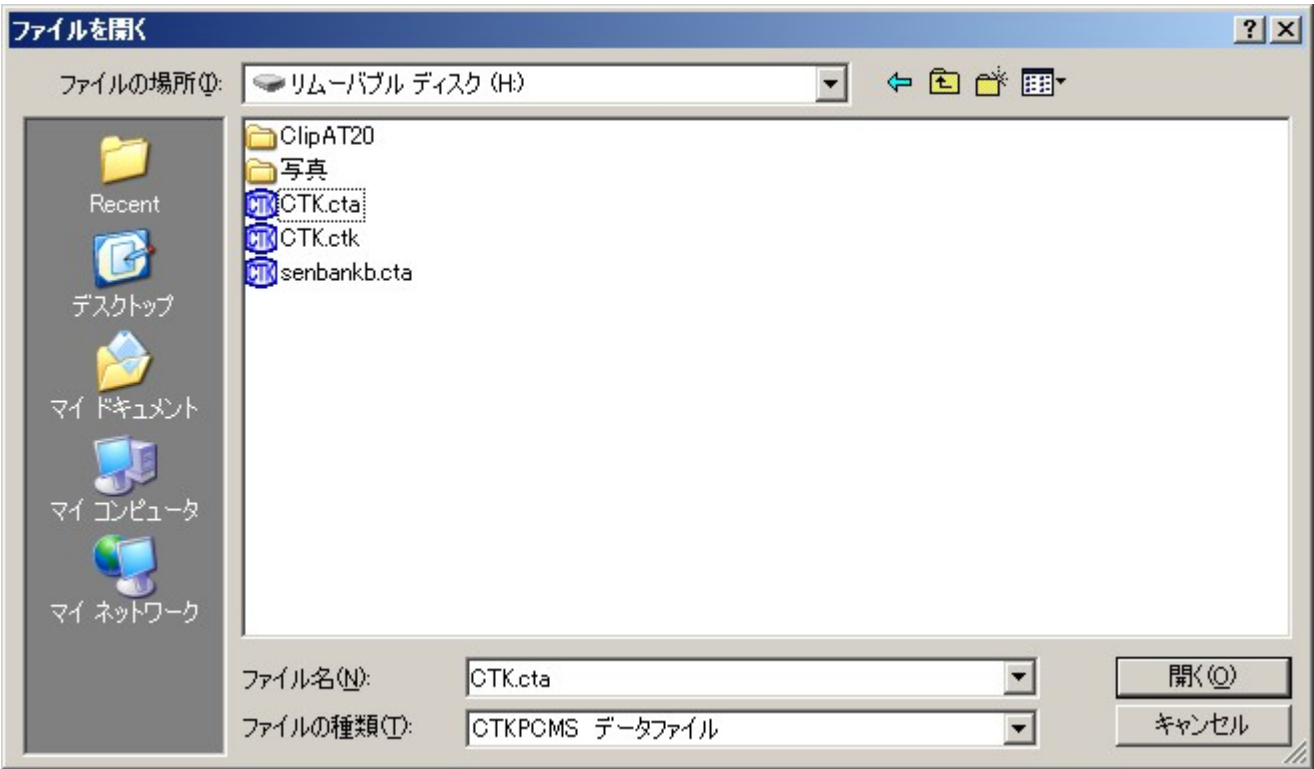
- ◇ 多段改行記号入力とナンバーリング記号入力は（キーボード **F3**）を押すことで切り替わります。
- ◇ ナンバーリング記号入力は挿入位置をマウスクリックするだけです。
- *10 進数または 16 進数を挟むように挿入する必要があります。
- ◇ すでにナンバーリング記号がある時マウスクリックすると削除されます。
- ◇ 【 】 がないときに文字列の右端をクリックすると【 】が入力されて始値の入力モードになります。 **Enter** キーで【 】が入力されて個数が入力可能になります。さらに **Enter** キーを押すとナンバーリング終値が入力可能になります。 **Enter** キーで入力確定出来ます。
- ◇ ナンバーリング記号入力解除は **Alt** キー又は **F3** キーを押すか、連番、線番入力ボックスをクリックします。
- *入力確定後に訂正するときは再度ナンバーリング記号をマウスクリックで入力します。
- *選択セル内に文字列がなくても挿入出来ます。
- *全角文字の入力は出来ません。
- *個数列、ナンバーリング列が編集できます。
- *ナンバーリングの始値と終値は 10 進数または 16 進数以外入力できません。
- *ホットマーカースP3000 のテーブルデータで 16 進が設定されている時マーキング時にエラーになる場合

があります。
* ナンバーリング記号はセル内に一組だけになります。

2-1-20 ・CTK マーキングデータのインポート



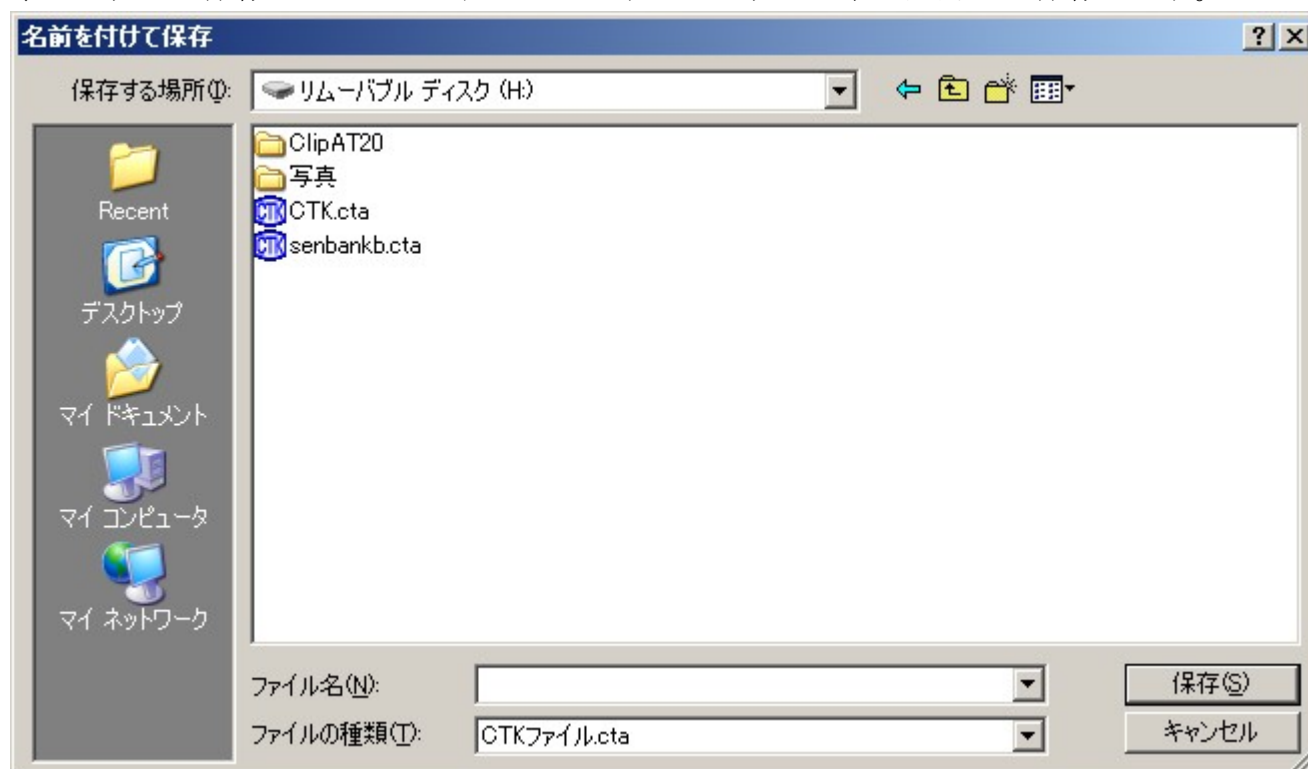
- ◇ グリッド内に文字列がなければ CTK マーキングデータのインポートができます。
- ◇ グリッド内で右クリックして CTK マーキングデータインポートを選択します
- ◇ ファイル選択ダイアログが表示されますのでマーキングデータファイル（拡張子 **ctk,cta**）を選択して開きます。



*インポートできるのは 1000 行 (~~Windows フォントは 100 行~~) までのマーキングデータのみになります。
(1000 行 (~~100 行~~) 以上はカットされます)
* Windows フォントで多段改行が設定されている cta ファイルはインポート出来ません。

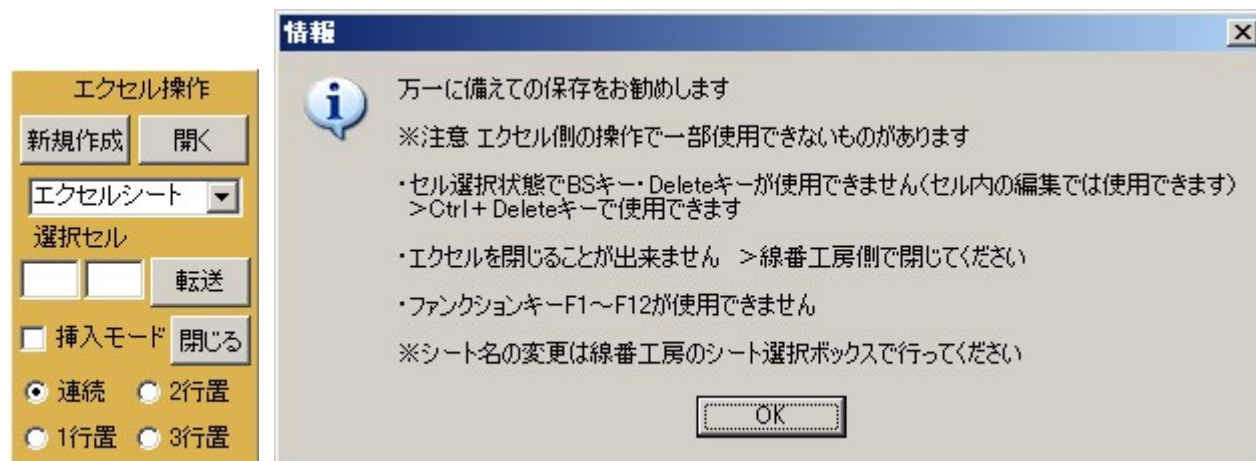
2-1-21 ・CTK ファイルでの保存

- ◇ グリッド内に文字列があれば **CTK 保存** が表示されますのでクリックします。(キーボード **F8**)
- ◇ ファイル保存ダイアログが表示されますのでファイル名を入力して保存します。



* 試用版では Windows フォントでの保存はできません。

2-1-22 ・エクセル操作

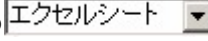


- ◇ エクセルでマーキングデータを保存すると編集、再利用が容易にできます。
 - ◇ 線番工房を起動する前にエクセルが開いている場合、起動後線番工房に連携されます。
- * 線番工房で開かなかった場合、連携されないことがあります。(**エクセルシート** の変化に注意してください)


- ◇ **新規作成** をクリックすると上の画像のメッセージが表示され **Enter** キーを押すとエクセルブックが新規作成されます。


- ◇ **開く** をクリックするとファイル選択ダイアログが表示されますのでエクセルファイル (拡張子.xls) を選択して開きます。


◇  現在開いているエクセルブックのシート名の変更と選択ができます。

*シート名の変更は線番工場の  に入力後 **Enter** キーを押してください。

シート名には :/?¥[] の 7 つの記号が使用できません。(エクセル側で変更した場合、不具合が発生する可能性があります)

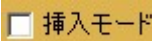
◇  にマーキングデータ転送先(列・行)を指定します。(直接エクセル側でもセル選択できます)
*選択セルは 100 列 (CV 列) まで指定出来ます。


◇  をクリックするとエクセルの選択セルを先頭にグリッド内のマーキングデータが行数分転送されセル幅が変更されます。(キーボード **F9**)

◇ エクセル操作枠内で右クリックして  逆順で転送するを選択すると、グリッド内のデータが上下逆に転送されます。

*転送する文字列がマーキングデータ 1 列のみの場合、転送先の 1 列のみ **セル書式の配置が中央揃えに、分類が文字列**になります。(個数又はナンバーリングを含む場合、3 列分のセル書式が設定されます。)

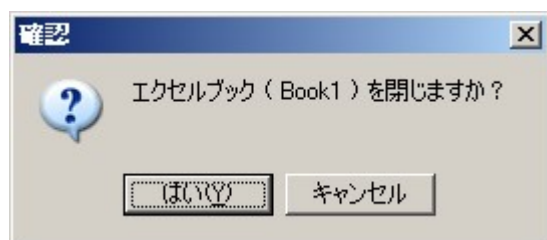
*エクセルに転送したデータは、取消出来ません。

◇  マーキングデータ転送先に文字列がある場合、挿入モードにチェックを入れないと上書きされます。

◇  はマーキングデータ転送先に行置き指定をします。

*挿入モードではなく行置き指定を選択し転送先にデータがある場合、行置きに転送先のデータが入ります。

◇  は現在一番上に表示されているエクセルブックを閉じます。



確認のメッセージが出た後、




エクセル保存の確認が出ます。

エクセル連携中の注意

・線番工場がエクセルとの連携中では、マウスを移動するだけで線番工場とエクセルが切り替わります。
(**F1** キー)

・線番工場の操作でファンクションキー **F2 ~ F12** または **Esc** キー、**Shift+F1** キーを押すときはマウスカーソルを線番工場側にしてください。(**F1** キー)

・画面下の  **線番工房** をクリックすることによりエクセルを全画面表示にすることができます。再

度クリックすると元に戻ります。(機能しない場合、右クリックで **- 最小化(N)** を選択してください。)

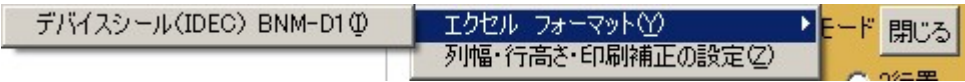
※右クリックで **元のサイズに戻す(R)** を選択した場合、  **線番工房** をクリックしても機能しなくなります。(Windows 仕様??)

※エクセル側操作上の注意※

- ・エクセルが線番工房との連携中では、エクセルの操作で一部使用できないものがあります。
 - ※選択セルでの **BackSpace** キーと **Delete** キーが使用できません。(Ctrl+Delete で使用できます。)
 - (セル内にテキストカーソルがある時は普通に使用できます。)
 - ※エクセルを閉じることができません。(線番工房側で閉じてください)
 - ※ファンクションキー **F1～F12** が使用できません。

2-1-23 ・デバイスシール作成

◇ エクセル操作の枠内で右クリックしてエクセルフォーマットにマウスカーソルを置くとサブメニューが表示されます。



	A	B
1		
2		
3	21	RY1
4		
5	20	RY2
6		
7	19	RY3
8		
9	18	RY4
10		
11	17	RY5
12		
13	16	RY6 RY7
14		
15	15	RY8 RY9
16		
17	14	
18		

◇ デバイスシールをクリックすると新規にエクセルブックが作成されます。(フォーマット作成が終了するまでお待ち下さい。)

	マーキングデータ	個数	ナンバーリング
1	RY1		
2	RY2		
3	RY3		
4	RY4		
5	RY5		
6	RY6	RY7	
7	RY8	RY9	
8			
9			

エクセル操作

新規作成 開く

Sheet1

選択セル B 3 転送

☐ 挿入モード 閉じる

☐ 連続 ☐ 2行置

☒ 1行置 ☐ 3行置

※画像は線番工房でマーキングデータを入力後エクセルに転送したものです。
※セル内改行は 1 段目の文字列と 2 段目の文字列の間に **SPACE** キーで空白を適当に入力します

2-1-24 ・デバイスシール印刷

◇ 印刷はプリンタの設定等によって列幅・行高さにズレが生じる場合があります。そのような時は印刷補正が便利です。エクセル操作の枠内で右クリックして印刷補正をクリックします。



- ◇ 印刷補正の前に普通紙等で印刷します。
- ◇ 印刷結果で列の幅にズレが生じた時は補正列に、行の高さにズレが生じた時は補正行に設定します。
- *印刷補正は各セルの列幅、行高さに対して補正をしますので、正確な補正はできません。
- *補正列で設定できるのはA～Z までです。
- *画像は入力例です。(2-1-25 参照)

2-1-25 ・列幅・行高さを設定

- ◇ エクセルブックが表示されている状態で設定します。
- ◇ **列幅・行高さ設定**は画面上での表示を設定します。
- ◇ 設定列の入力で連続は「：」不連続は「，」を間に入れる（例 **A:F,H,K,M:P,R**）
- ◇ エクセルでは通常、列の幅は半角文字数で設定します。**mm** をクリックするとミリで設定できます。
- ◇ 幅の値を入力後 **Enter** キーを押すと反映されます。

列幅・行高さ・印刷補正設定

設定列

A:F,H,K,M:P,R

幅

10

☒ 半角文字数
☐ mm

設定

設定行

1:5,7,9,12:15,17

高さ

15

☒ ポイント
☐ mm

設定

範囲

目標長さ

印刷実測値

補正列

A

～

R

180

mm

186

mm

補正行

1

～

17

270

mm

277

mm

補正

クリア

閉じる

- ◇ 設定行の入力で連続は「：」不連続は「，」を間に入れる（例 **1:5,7,9,12:15,17**）
- ◇ エクセルでは通常、行の高さはポイントで設定します。**mm** をクリックするとミリで設定できます。
- ◇ 高さの値を入力後 **Enter** キーを押すと反映されます。
- *画像は入力例です。数字が反転している時はそのまま入力して **Enter** キーを押すと反映されます。
- ***mm** では正確な設定はできません。（画面表示はピクセル単位になりますが、ディスプレイの設定等で変わるため）

2-1-26 ・エクセル変換（ブルーモード）に切替

- ◇ **ブルーモード**をクリックするとエクセルデータを CTK ファイルに変換してマーキングできるモードになります。（キーボード **Shift+F1**）*ブルーモードでの変換データをオレンジモードのグリッドで確認できます。*グリッド内にデータがある場合、上書きされます。

2-1-27 ・線番工房を閉じる

- ◇ 右下の **閉じる** ボタンをクリックすると線番工房を終了します。（キーボード **Alt+F4**）
- *線番工房に接続されたエクセルは、線番工房を閉じるとすべて閉じます。（印刷プレビュー、印刷設定等が表示されている場合は閉じません）
- *マーキングデータは消去されますので、エクセルに転送するか CTK 保存をしてください。
- *ブルーモードでは線番工房を終了する事はできません。（オレンジモードで閉じてください）

2-1-28 ・キーボード操作

- *キーボード操作をする時は線番工房をアクティブにして行ってください。
- *マウスカーソルを線番工房側に移動（**F1** キー）

取消(N)	Esc
エクセル<>線番工房切替(Q)	F1
ブルーモード切替(P)	Shift+F1
グリッド内編集(Q)	F2
グリッド内多段改行・ナンバリング(R)	F3
文字挿入モード(S)	F4
多段改行記号 (T)	F5
ナンバリング記号 【】(U)	F6
ロック(V)	F7
CTK保存(O)	F8
転送(W)	F9
マーキング(X)	F10
クリア(Y)	F11
全行削除(Z)	F12



追加機能（オレンジモード）

・個数同時入力モード

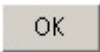
・回路図の線番を入力する時、一つの線番で同時に三種類のマークチューブ等の個数を入力できます。

個数BOX

- ☒ 1BOX
- ☐ 3BOX
- ☐ TEXT

・グリッド内に文字列が無いときに、が表示されます。3BOXにチェックを入れると上の画像のようにが

に変わり、グリッド表示も個数列が変わります。

・個数を入力し  ボタンをクリックするか **Enter** キーを押すとグリッドに追記されます。（横移動は**矢**

印← →キーを押します)



- ・グリッド内に文字列がある時、左の画像が表示されます。
- ・マーキングの時は左の個数列のいずれかを選択して **マーキング** をクリック（**F10**）します。

＊マーキングデータが入力されていても個数が入力されていなければそのマーキングデータはマーキングされません。

- ・個数列の表示は直接マーキングとは関係ありませんが表示を変更することもできます。



- 左の設定のチェックボックスにチェックを入れると**個数同時入力ラベル設定**があります。
- ・マウスクリックで選択するか直接文字入力します。（4 文字まで）



- ・設定後はチェックボックスをクリックしてチェックをはずしてください。

- ＊表示を設定しても次回起動時には元に戻ります。
- ＊個数同時入力モードでは **CTK** インポートはできません。
- ＊ブルーモードに切替えるとグリッド内の文字列が削除され、個数同時入力モードは解除されます。

- ・個数入力ボックスに文字列入力



- ・**TEXT** にチェックをいれると個数入力ボックスに文字列を入力できます。
- ・エクセルでの書類作成等にご活用できます。



- ＊ブルーモードに切替はできません。
- ＊マーキング及び**C T K**保存はできません。

・多段改行記号一括入力

	多段改行記号挿入モード	個数	ナンバーリング
14	N1 000	2	
15	O1 000	2	
16	P1 000	2	
17	Q1 000	2	
18	R1 000	2	
19	S1 000	2	
20	T1 000	2	
21	U1 000	2	
22	V1 000	2	
23	W1 000	2	
24	X1 000	2	
25	Y1 000	2	
26	Z1 000	2	
27			
28			

多段改行一括入力

4 文字以上の行

☒ 文字数で挿入
3 文字目

☐ キーワードで挿入
番目

☒ 前に挿入 OK

☐ 後に挿入 取消

一行削除 マーキング

全行削除 CTK 保存

開じる

ヒント表示 ブルーモード

・多段改行記号一括入力はグリッド内の選択範囲の行を対象に機能します。

多段改行記号挿入モード	個数	ナンバーリング
-------------	----	---------

*列の項目名をクリックすると列全体を選択でき、入力行全体が対象になります。(どの列を選択しても記号入力できます)

*グリッドの選択範囲指定は上下のカーソルキーと **Shift** キーで行います。

(マーキングデータをクリックすると多段改行記号が入力されます)

・ 文字以上の行 で多段改行対象行を指定します。

・ ☒ 文字数で挿入
 文字目 は何文字目に挿入するか指定します。

*入力後,**Enter** キーを押すと実行されます。

・ ☐ キーワードで挿入
 番目 は一文字以上の文字列を指定します。

*入力後,**Enter** キーを押すと実行されます。

* 番目 指定行の 1 行の中にキーワードが 2 つ以上ある場合に入力します。(1~5)

*未入力の場合、1 番目が指定されます。

*入力後,**Enter** キーを押すと実行されます。

・ ☒ 前に挿入
☐ 後に挿入 どちらかを選択して をクリックするとグリッド内の文字列に多段改行記号が挿入されます。

・ をクリックすると前の状態に戻ります。(**Esc** キー)

・編集モードでの文字列置換・挿入・削除

	編集モード	個数	ナンバーリング
14	N1 000	2	
15	O1 000	2	
16	P1 000	2	
17	Q1 000	2	
18	R1 000	2	
19	S1 000	2	
20	T1 000	2	
21	U1 000	2	
22	V1 000	2	
23	W1 000	2	
24	X1 000	2	
25	Y1 000	2	
26	Z1 000	2	
27			
28			

☒ 文字(列)の置換
☐ 文字(列)の挿入
☐ 文字(列)の削除

 置換前文字(列)
 対象文字(列)が
 複数時 ☐ 番目
 置換文字(列)

・文字列の置換・挿入・削除はグリッド内の選択範囲の列を対象に機能します。

編集モード	個数	ナンバーリング
-------	----	---------

*列の項目名をクリックすると列全体を選択できます。

・文字列置換

・置換前文字(列) と置換文字(列) は選択列に応じて入力規制があります。

*個数列を選択で 0～9、ナンバーリング列を選択で 0～9、A～F のみ入力できます。

*マーキングデータ列を選択し入力した後で他の列を選択しても、入力した文字列は消去されません。

・対象文字(列)が
 複数時 ☐ 番目
選択範囲内で一つの文字列の中に複数の対象文字(列)がある場合に指定します。(1～5 まで)

*未入力の場合、1 番目にある対象文字(列)が置換られます。

・置換文字(列) に入力後 **Enter** キーを押すと実行されます。

・ をクリックすると前の状態に戻ります。(Esc キー)

・文字列の挿入

・挿入文字(列) は選択列に応じて入力規制があります。

*個数列を選択で 0～9、ナンバーリング列を選択で 0～9、A～F のみ入力できます。

*入力後、**Enter** キーを押すと実行されます。

・文字数で挿入
 キーワードで挿入
 文字目
は何文字目に挿入するか指定します。(1～9 まで)

*入力後、**Enter** キーを押すと実行されます。

*未入力の場合、文字列の頭に挿入されます。

☐ 文字(列)の置換
☒ 文字(列)の挿入
☐ 文字(列)の削除

 挿入文字(列)
☒ 文字数で挿入
☐ キーワードで挿入
 文字目
☒ 前に挿入
☐ 後に挿入

- ・ は一文字以上の文字列を指定します。

* 入力後, **Enter** キーを押すと実行されます。

* 未入力の場合、文字列の頭に挿入されます。

- * 番号 指定行の 1 行の中にキーワードが 2 つ以上ある場合に入力します。(1~5)

* 未入力の場合、1 番目が指定されます。

* 入力後, **Enter** キーを押すと実行されます。

- ・ ☐ 後に挿入 どちらかを選択して をクリックすると実行されます。

- ・ 挿入文字(列) に入力後 **Enter** キーを押すと実行されます。

- ・ をクリックすると前の状態に戻ります。(**Esc** キー)

・ 文字列の削除

- ・ 削除文字(列) は選択列に応じて入力規制があります。

* 個数列を選択で 0~9、ナンバーリング列を選択で 0~9、A~F のみ入力できます。

- ・ 入力後 **Enter** キーを押すと実行されます。

- ・ 番号 指定行の 1 行の中にキーワードが 2 つ以上ある場合に入力します。(1~5)

* 未入力の場合、1 番目が指定されます。

- ・ 入力後 **Enter** キーを押すと実行されます。

- ・ をクリックすると前の状態に戻ります。(**Esc** キー)

2-2 エクセル変換（ブルーモード）

2-2-1 ・オレンジモードからブルーモードに切替

◇ オレンジモードで **ブルーモード** をマウスクリックすると右の画像が表示されます。（キーボード **Shift+F1**）

◇ オレンジモードでエクセルシート **Sheet1** が開かれていればブルーモードでもそのまま活用できます。

◇ オレンジモードでのテーブル選択、長さ設定、送り補正もそのまま表示されます。



◇ **オレンジモード** をクリックするとオレンジモードに戻ります。（キーボード **Shift+F1**）

◇ ブルーモードでのテーブル選択、長さ設定、送り補正もそのまま表示されます。

* 長さ設定は基準の数値から変更されていなければ表示されません。



* テーブルデータ **senbankb.sp3** が線番工房フォルダに無ければテーブル選択、長さ設定、送り補正は表示されません。（2-1-4 参照）

* 試用版ではテーブル選択、長さ設定、送り補正は表示されません。

* ブルーモードでは線番工房を終了する事はできません。（オレンジモードで閉じてください）

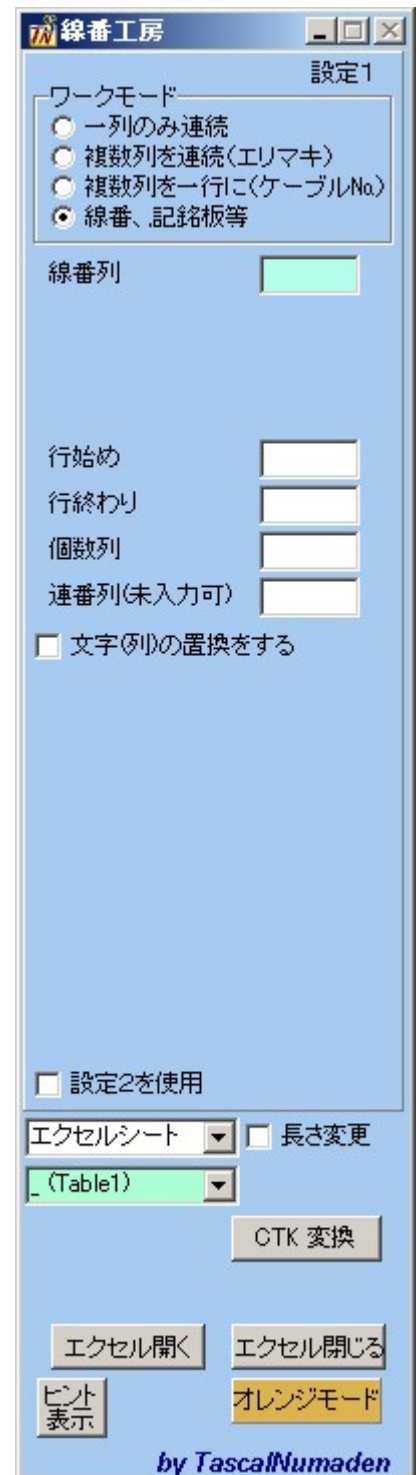
2-2-2 ・エクセルを開く

◇ エクセルが開かれていなければ **エクセル開く** で開いてください。

* 線番工房を起動する前にエクセルが開いている場合、起動後線番工房に接続されます。

* 線番工房で開かなかった場合、接続されない事があります。

（**エクセルシート** のシート名に注意してください）



2-2-3 ・エクセルを閉じる

- ◇ エクセルを閉じるときは **エクセル閉じる** で閉じてください。
- ◇ 現在一番上に表示されているエクセルブックを閉じます。
- *エクセルを全て閉じると設定 1 のみの表示になり入力設定がクリアされます。
- *線番工房に接続されたエクセルは、線番工房を閉じるとすべて閉じます。
- *エクセルシートに変更がある場合、保存確認のメッセージが出ます。

2-2-4 ・ワークモードを選択：線番、記銘板等・マーキング

- ◇ 初期画面ではワークモードが **線番、記銘板等** に設定されています。
- ◇ 入力支援（オレンジモード）で作成したマーキングデータがエクセルで保存してあれば活用できます。

	A	B	C
1	X07E	2	
2	N241	2	
3	X07F	2	
4	N241	2	
5	X095	2	
6	N241	2	
7	X096	2	
8	N241	2	
9	X097	2	
10	N241	2	
11	X0A[O]	2	F
12			
13			
14			

ワークモード

☐ 一列のみ連続

☐ 複数列を連続(エリマキ)

☐ 複数列を一行に(ケーブルNo.)

☒ 線番、記銘板等

線番列

行始め

行終わり

個数列

連番列(未入力可)

- ◇ **線番列、行始め、行終わり** のテキストボックスいずれかにテキストカーソルがある時に、エクセルシートのセルを選択すると **線番列・行始め・行終わり・個数列** が入力されます。
- *セルの選択範囲が長すぎる場合等マウスで選択しづらい時は、行始めをクリック選択して **Shift+↓** で行終わりまで選択します。
- *線番工房の **線番列・行始め・行終わり** に直接入力指定できます。

	A
1	
2	
3	
4	
78	
112	
187	
268	
422	
443	
465	
608	
609	

- *選択するのは線番列のみにになります。個数列は線番列の次の列が設定されます。
- *線番列の指定は A～CV（100 列）までになります。
- *CTK 仕様のナンバーリングがセル内にあれば連番列（終値）も指定します。
- *左の画像の様にエクセルの行番号が飛んでいる場合、その間のデータも変換されますので注意が必要です。（フィルタ機能が設定されているのでソート等で連続の行番号にします）

- ◇ 上の画像の様に設定して **CTK 変換** をマウスクリックすると（キーボード **F9**）

線番工房

終わりました(マーキングデータ合計11個)

OK

終わりましたのメッセージと **現在の変換マーキングデータの合計数**が表示されます。

- *一度変換すると **CTK 変換** が **新規 変換** に変わり、**追加 変換** が表示されます。追加変換があれば再度エクセルシートのセルを選択して **追加 変換** をクリックしてください。

- * 追加変換後で **追加取消** をクリックすることで取り消すことができます。
- * 追加変換は他のシート、他のブックのセルを指定できます。
- * マーキングデータの合計数が1000になるまで追加できます。(全角文字が含まれる場合は合計数100まで)
- * **追加 変換** にマウスカーソルを置くと **現在の変換マーキングデータの合計数**が表示されます。
- * 変換データの結果はオレンジモードのグリッドで確認でき、オレンジモードでの操作ができます。

◇ **OK** をクリックするか **Enter** キーを押すと **マーキング** が表示されますので再度 **Enter** キー (キーボード **F10**) を押すとテーブル設定確認のメッセージが表示されますのでそのままでは **Enter** キーを押します。



* テーブル設定が間違っていればキャンセルして、テーブル設定後再度マーキングしてください。

* 試用版ではテーブル設定の確認はありません。

◇ しばらくして **CTKPCMS for Windows** が起動されて次のウインドウが表示されます。
(CTKPCMS for Windows がインストールされていなければ起動しません)

データ 設定			
ライン	マーキングデータ【拡張編集モード】	個数	ナンバー
0001	X07E	2	
0002	N241	2	
0003	X07F	2	
0004	N241	2	
0005	X095	2	
0006	N241	2	
0007	X096	2	
0008	N241	2	
0009	X097	2	
0010	N241	2	
0011	X0A【0】	2	F

◇ メニューの **マーキング(M)** をクリックして **範囲を指定してマーキング(M)..** のどちらかを選択後、範囲を指定することでマーキングできます。(ホットマーカーSP3000 に接続済みのこと)

- * **転送してマーキング(T)** を選択した場合、ホットマーカーSP3000 本体のマーキングデータが消去されます。
- * **転送してマーキング(T)** を選択した時は、ホットマーカーSP3000 がマーキングをスタートした時点で **CTKPCMS for Windows** を閉じる事ができます。

- * **範囲を指定してマーキング(M)..** を選択した時は、ホットマーカーSP3000 がマーキングを終了するまで **CTKPCMS for Windows** を閉じる事ができません。(線番工房での作業はできます)

* **CTKPCMS for Windows** を閉じないと次回、線番工房の **マーキング** をクリックした時、下のメッセージが出ます。



2-2-5 ・ワークモードを選択：一列のみ連続

The screenshot shows a software interface for selecting a work mode. At the top, under the heading 'ワークモード' (Work Mode), there are four radio button options: '一列のみ連続' (Single Column Continuous), '複数列を連続(エリマキ)' (Continuous Multiple Columns (Erimaki)), '複数列を一行に(ケーブルNo.)' (Multiple Columns in One Row (Cable No.)), and '線番、記銘板等' (Line No., Marking Plate, etc.). The first option is selected. Below this, there are input fields for '列一番目' (First Column), '行始め' (Start Row), '行終わり' (End Row), and '個数' (Count). The '列一番目' field is highlighted with a green background.

◇ エクセルの選択列の行始めから行終わりまでを変換します。

◇ **列一番目、行始め、行終わり**のテキストボックスいずれかにテキストカーソルがある時に、エクセルシートのセルを選択すると**列一番目・行始め・行終わり**が入力されます。

*セルの選択範囲が長すぎる場合等マウスで選択しづらい時は、行始めをクリック選択して **Shift+↓** で行終わりまで選択します。

*線番工房の**列一番目・行始め・行終わり**に直接入力指定できます。

*列の指定は A～CV (100 列) までになります。

◇ 個数にはマーキング個数を入力します。

2-2-6 ・ワークモードを選択：複数列を連続

The screenshot shows the same 'Work Mode' selection screen as in 2-2-5, but with the second radio button option, '複数列を連続(エリマキ)' (Continuous Multiple Columns (Erimaki)), selected. The input fields for '列一番目' through '列四番目' (Columns 1 to 4), '行始め', '行終わり', and '個数' are visible. The '列一番目' field is highlighted with a green background.

◇ ケーブルリスト等のエクセルデータがあれば活用できます。

◇ ケーブル行先等のエリマキ作成に便利です。

◇ エクセルの列を四つまで指定して行始めから行終わりまでを変換します。
*マーキングの順番は行始めの列一番目～列四番目、次の行の列一番目～列四番目・・・の順番になります。

*列の指定は A～CV (100 列) までになります。

*エクセルのセルを選択しても入力されません。(直接入力指定のみです)

*列三番目と列四番目は未入力可能です。

◇ 個数にはマーキング個数を入力します。

2-2-7 ・ワークモードを選択：複数列を一行に

The screenshot shows the 'Work Mode' selection screen with the third radio button option, '複数列を一行に(ケーブルNo.)' (Multiple Columns in One Row (Cable No.)), selected. The input fields for 'ケーブルNo.列' (Cable No. Column), '長さ列(未入力可)' (Length Column (Optional)), '備考欄(未入力可)' (Remarks Column (Optional)), '行始め', '行終わり', and '個数' are visible. The 'ケーブルNo.列' field is highlighted with a green background.

◇ ケーブルリスト等のエクセルデータがあれば活用できます。

◇ ケーブル識別等のタグ代わりに使用できます。(結束線等を通して使用)

◇ 長さ列を指定するとマーキング時にmが数字の後に付きます。

◇ 備考欄には工番、コメント等を入力します。

* **ケーブルNo.列・長さ列・備考欄**が一行になります。

◇ **ケーブルNo.列、行始め、行終わり**のテキストボックスいずれかにテキストカーソルがある時に、エクセルシートのセルを選択すると**ケーブルNo.列・行始め・行終わり**が入力されます。

*セルの選択範囲が長すぎる場合等マウスで選択しづらい時は、行始めをクリック選択して **Shift+↓** で行終わりまで選択します。

*線番工房の**ケーブルNo.列・行始め・行終わり**に直接入力指定できます。

*列の指定は A～CV (100 列) までになります。

◇ 個数にはマーキング個数を入力します。

2-2-8 ・設定 2, 設定 3 を使う

- ◇ 2-2-4～2-2-7 の設定を一つのエクセルシート内で 3 通り設定できます。
- ◇ エクセルを開いた状態で **設定2を使用** にチェックを入れると設定 2 の表示が出ます。
- ◇ 同じく **設定3を使用** にチェックを入れると設定 3 の表示が出ます。
- ◇ 設定 1 の設定が終わった状態で **設定1をコピー** をクリックすると設定 1 の入力設定が設定 2 に複写されます。
- ◇ 同じく **設定2をコピー** をクリックすると設定 2 の入力設定が設定 3 に複写されます。
- * **文字(列)の置換** が設定されている時、上の置換前文字(列)が複写されます。

* 設定 1, 設定 2, 設定 3 の枠内でマウスカースルが矢印の時、文字のない所をクリックすると一番上の入力ボックスにテキストカーソルが移ります。

2-2-9 ・文字列の置換をする

Microsoft Excel - Book1

ファイル(E) 編集(E) 表示

A1

	A	B
1	U*100	2
2	V*100	2
3	W*100	2
4	U*200	2
5	V*200	2
6	W*200	2
7	U*300	2
8	V*300	2
9	W*300	2
10	U*400	2
11	V*400	2
12	W*400	2
13	U*500	2
14	V*500	2
15	W*500	2
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

線番工房

設定3

ワークモード

☐ 一列のみ連続

☐ 複数列を連続(エリマキ)

☐ 複数列を一行に(ケーブルNo.)

☒ 線番、記銘板等

線番列

A

行始め

1

行終わり

15

個数列

B

連番列(未入力可)

☒ 文字(列)の置換をする

置換前文字(列)

*

対象文字(列)が複数時

☐ 番目

置換文字(列)

C

↓ 同時に2カ所置換時入力 ↓

置換前文字(列)

対象文字(列)が複数時

☐ 番目

置換文字(列)

設定2をコピー

設定2

ワークモード

☐ 一列のみ連続

☐ 複数列を連続(エリマキ)

☐ 複数列を一行に(ケーブルNo.)

☒ 線番、記銘板等

線番列

A

行始め

1

行終わり

15

個数列

B

連番列(未入力可)

☒ 文字(列)の置換をする

置換前文字(列)

*

対象文字(列)が複数時

☐ 番目

置換文字(列)

B

↓ 同時に2カ所置換時入力 ↓

置換前文字(列)

対象文字(列)が複数時

☐ 番目

置換文字(列)

☒ 設定3を使用

設定1をコピー

設定1

ワークモード

☐ 一列のみ連続

☐ 複数列を連続(エリマキ)

☐ 複数列を一行に(ケーブルNo.)

☒ 線番、記銘板等

線番列

A

行始め

1

行終わり

15

個数列

B

連番列(未入力可)

☒ 文字(列)の置換をする

置換前文字(列)

*

対象文字(列)が複数時

☐ 番目

置換文字(列)

A

↓ 同時に2カ所置換時入力 ↓

置換前文字(列)

対象文字(列)が複数時

☐ 番目

置換文字(列)

☒ 設定2を使用

- ◇ **文字(列)の置換をする** にチェックを入れるとエクセルの指定列の行始め～行終わりまでを対象に文字列の置換をします。

ライン	マーキングデータ
0001	UA100
0002	VA100
0003	WA100
0004	UA200
0005	VA200
0006	WA200
0007	UA300
0008	VA300
0009	WA300
0010	UA400
0011	VA400
0012	WA400
0013	UA500
0014	VA500
0015	WA500
0016	UB100
0017	VB100
0018	WB100
0019	UB200
0020	VB200
0021	WB200
0022	UB300
0023	VB300
0024	WB300
0025	UB400
0026	VB400
0027	WB400
0028	UB500
0029	VB500
0030	WB500
0031	UC100
0032	VC100
0033	WC100
0034	UC200
0035	VC200
0036	WC200
0037	UC300
0038	VC300
0039	WC300
0040	UC400
0041	VC400
0042	WC400
0043	UC500
0044	VC500
0045	WC500

◇ 例として上の画像の様にエクセルの指定列・行の中にある文字(列)

置換前文字(列) を入力して 置換文字(列) に入力します。

◇ 同じ様に設定2、設定3も入力します。

◇ **CTK変換** (キーボード **F9**) をクリック後 **マーキング** (キーボード **F10**) をクリックすると左の画像になります。(入力ボックスの移動と変換・マーキングが **Enter** キーのみでできます。)

*結果が思い通りでなかった場合、再度設定後 **新規変換** **マーキング** します。

*エクセルシート自体は変更されませんので何回でもやり直せます。

*指定セル内に置換したい文字(列)が二つ以上あれば 対象文字(列)が複数時 番目 で指定する事ができます。

*同じ指定列・行内で同時に置換したい文字(列)があれば下の画像の様に設定する事で置換できます。

<input checked="" type="checkbox"/> 文字(列)の置換をする 置換前文字(列) <input type="text" value="*"/> 対象文字(列)が複数時 <input type="text"/> 番目 置換文字(列) <input type="text" value="A"/> ↓ 同時に2カ所置換時入力 ↓ 置換前文字(列) <input type="text" value="00"/> 対象文字(列)が複数時 <input type="text"/> 番目 置換文字(列) <input type="text" value="11"/>	<table> <tr><th>ライン</th><th>マーキングデータ</th></tr> <tr><td>0001</td><td>UA111</td></tr> <tr><td>0002</td><td>VA111</td></tr> <tr><td>0003</td><td>WA111</td></tr> <tr><td>0004</td><td>UA211</td></tr> <tr><td>0005</td><td>VA211</td></tr> <tr><td>0006</td><td>WA211</td></tr> <tr><td>0007</td><td>UA311</td></tr> <tr><td>0008</td><td>VA311</td></tr> <tr><td>0009</td><td>WA311</td></tr> <tr><td>0010</td><td>UA411</td></tr> <tr><td>0011</td><td>VA411</td></tr> <tr><td>0012</td><td>WA411</td></tr> <tr><td>0013</td><td>UA511</td></tr> <tr><td>0014</td><td>VA511</td></tr> <tr><td>0015</td><td>WA511</td></tr> </table>	ライン	マーキングデータ	0001	UA111	0002	VA111	0003	WA111	0004	UA211	0005	VA211	0006	WA211	0007	UA311	0008	VA311	0009	WA311	0010	UA411	0011	VA411	0012	WA411	0013	UA511	0014	VA511	0015	WA511
ライン	マーキングデータ																																
0001	UA111																																
0002	VA111																																
0003	WA111																																
0004	UA211																																
0005	VA211																																
0006	WA211																																
0007	UA311																																
0008	VA311																																
0009	WA311																																
0010	UA411																																
0011	VA411																																
0012	WA411																																
0013	UA511																																
0014	VA511																																
0015	WA511																																

*最初の置換文字(列)も置換前文字(列)に指定できます。

<input checked="" type="checkbox"/> 文字(列)の置換をする 置換前文字(列) <input type="text" value="*"/> 対象文字(列)が複数時 <input type="text"/> 番目 置換文字(列) <input type="text" value="A"/> ↓ 同時に2カ所置換時入力 ↓ 置換前文字(列) <input type="text" value="A1"/> 対象文字(列)が複数時 <input type="text"/> 番目 置換文字(列) <input type="text" value="BK"/>	<table> <tr><th>ライン</th><th>マーキングデータ</th></tr> <tr><td>0001</td><td>UBK00</td></tr> <tr><td>0002</td><td>VBK00</td></tr> <tr><td>0003</td><td>WBK00</td></tr> <tr><td>0004</td><td>UA200</td></tr> <tr><td>0005</td><td>VA200</td></tr> <tr><td>0006</td><td>WA200</td></tr> <tr><td>0007</td><td>UA300</td></tr> <tr><td>0008</td><td>VA300</td></tr> <tr><td>0009</td><td>WA300</td></tr> <tr><td>0010</td><td>UA400</td></tr> <tr><td>0011</td><td>VA400</td></tr> <tr><td>0012</td><td>WA400</td></tr> <tr><td>0013</td><td>UA500</td></tr> <tr><td>0014</td><td>VA500</td></tr> <tr><td>0015</td><td>WA500</td></tr> </table>	ライン	マーキングデータ	0001	UBK00	0002	VBK00	0003	WBK00	0004	UA200	0005	VA200	0006	WA200	0007	UA300	0008	VA300	0009	WA300	0010	UA400	0011	VA400	0012	WA400	0013	UA500	0014	VA500	0015	WA500
ライン	マーキングデータ																																
0001	UBK00																																
0002	VBK00																																
0003	WBK00																																
0004	UA200																																
0005	VA200																																
0006	WA200																																
0007	UA300																																
0008	VA300																																
0009	WA300																																
0010	UA400																																
0011	VA400																																
0012	WA400																																
0013	UA500																																
0014	VA500																																
0015	WA500																																

2-2-10 ・全角文字の検索

◇ 指定列・行内のエクセルデータに全角文字が含まれていた場合、マーキングは Windows フォントになります。意図せず含まれていた場合探し出すのは大変です。

	A	B
1	U*100	2
2	V*100	2
3	W*100	2
4	U*200	2
5	V*200	2
6	W*200	2
7	U*300	2
8	V*300	2
9	W*300	2
10	U*400	2
11	V*400	2
12	W*400	2
13	U*500	2
14	V*500	2
15	W*500	2

◇ 左のエクセルデータの中に全角文字で入力された数字がある場合、線番工房で変換すると **全角文字検索** が各設定の **設定2を使用** の上に表示されます。

◇ **全角文字検索** をクリックすると **A7** が表示されますので をクリック

して **A14** 選択します。

	A	B
1	U*100	2
2	V*100	2
3	W*100	2
4	U*200	2
5	V*200	2
6	W*200	2
7	U*300	2
8	V*300	2
9	W*300	2
10	U*400	2
11	V*400	2
12	W*400	2
13	U*500	2
14	V*500	2
15	W*500	2

◇ 選択すると同時に A 列の 7 番目が選択表示され、3 の数字が全角文字である事がわかります。

◇ 同じように A14 の 0 の数字が全角文字である事がわかります。

2-2-11 ・キーボード操作

エクセル<>線番工房切替(⌘)	F1
CTK保存(⌘)	F8
CTK変換(新規)(⌘)	F9
マーキング(⌘)	F10
オレンジモード切替(⌘)	Shift+F1

*キーボード操作をする時は線番工房をアクティブにして行ってください。

*マウスカーソルを線番工房側に移動 (**F1** キー)

線番工房 350 バージョン

・EPLAN 対応

ツール(T)

データ(D)

ウィンドウ(W)

ヘルプ(H)

質問を入力してください

85%

Calibri

ION_BOARD/084A

N	O	P	Q
-SAU1	A2		-TBN24
-SAU1	A1		-TBP24
-SAU1DX	0		-TBN24
-SAU1BX	0		-SAU1DX
-SAU1BX	0		-SAU1X
-SAU1EX	0		-SAU1X
-SAU1CX	0		-SAU1EX
-SAU1AX	0		-SAU1CX
-TBO2	1		-SAU1
-TBO2	1		-SAU1
-TBO2	1		-SAU1
-TBO2	1		-SAU1
-SAU1	T32		-TBP24
-MC214	21		-SAU1
-MC214	21		-MC214A
-MC16	41		-MC16A
-MC16	41		-MC214A
-MC16A	21		-SAU1X
-SAU1BX	11		-SAU1CX
-SAU1AX	11		-SAU1BX
-SAU1AX	11		-SAU1X
-SAU1CX	11		-SAU1DX
-SAU1DX	11		-SAU1EX
-SAU1X	43		-TBN24
-JE2			-XPLS21
-XPLS21	A1		-XPLS22
-JE2			-XPLS22
-TBP24	1		-XDV2CL
-XARMEXT	13		-XDV2CL
-XARMEXT	13		-XARMRET
-XARMRET	13		-XRS11
-XDV2OP	13		-XRS11
-TB11	1		-TBCOMN3

線番工房

設定2

ワークモード

● 一列のみ連続

● 複数列を連続

● 複数列を一行

● 線番・記銘板等

ターゲットDT

列一番目

列二番目(未入力可) R

列三番目(未入力可)

列四番目(未入力可)

文字(列)の置換をする

設定3を使用

設定1をコピー

設定2を使用

単独配線_01

センバツ(Table 1)

長さ変更

CTK 変換

エクセル開く

エクセル閉じる

ヒント表示

オレンジモード

by TascalNumaden

設定1

ワークモード

● 一列のみ連続

● 複数列を連続

● 複数列を一行

● 線番・記銘板等

EPLAN

ソースDT

列一番目

列二番目(未入力可) O

列三番目(未入力可)

列四番目(未入力可)

行始め

行終わり 19行

出力個数 38個

打出先頭備考欄

文字(列)の置換をする

設定2を使用

・EPLAN エクセルファイルのソースDT列とターゲットDT列を指定してCTK変換します。
そのままホットマーカでマーキングする。またはオレンジモードでエクセルに転送できます。

・エクセルフィルター（抽出：行）対応しました。
行番号が連続でなくても表示通りに処理。

・不具合等の修正

エクセルがインストールされていない場合
線番工房起動時にエラーになります。